



土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

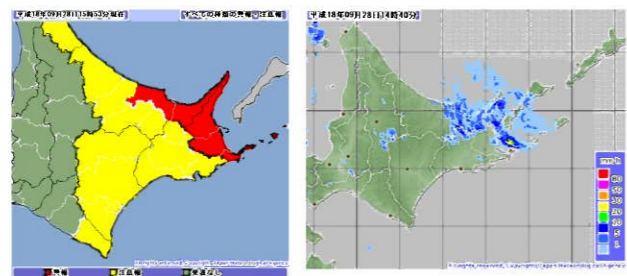
①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！

○黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。  
○赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「建築物に危害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。  
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので、注意してください。

②雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう！

○まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。  
○雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう

- ☆インターネットによるサービス
  - ・北海道防災情報ホームページ  
<http://www.bousai-hokkaido.jp/>
  - ・気象庁ホームページ  
<http://www.jma.go.jp/jma/>
- ☆携帯電話によるサービス
  - ・北海道防災情報ホームページ  
<http://i.bousai-hokkaido.jp/>



～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20mm	ザーザー降る。	長く続くときは注意が必要。
20～30mm	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30～50mm	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50～80mm	滝のように降る。	都市部では地下室や地下街に濁水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

③前兆現象を見つけたら、直ちに役場や分遣所など関係機関に連絡しましょう！  
また、早めの避難を心がけましょう！

こんな前ぶれ現象に注意！



日頃からの確認



雨が強くなってきたら



前兆現象を見たら



避難のときは



④避難情報が出たら、家族との連絡、非常用持出品の用意などを開始しましょう！

⑤警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示などの連絡があったら直ちに避難しましょう！

・避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

⑥避難の際はこんなことに気をつけましょう！

- ・避難場所へ避難する場合は、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域(浸水するおそれがある区域)を避けた避難経路を選択しましょう。
- ・溪流から直角方向に避難し、できるだけ溪流から離れましょう。
- ・携行品は限られた物だけ(非常用持出品)にしましょう。
- ・服装は軽装とし、帽子、雨合羽、防寒用具を携行しましょう。
- ・火気の始末をし、火災が発生しないようにしましょう。
- ・戸締まりをしましょう。



○家族と連絡がとれない時は・・・

- NTT災害用伝言ダイヤルの活用(忘れてイナイ)
- メッセージの録音:市外局番+171+1+自分の家の番号
- メッセージの再生:市外局番+171+2+自分の家の番号
- ※携帯電話からもかかります

